

JST復興促進プログラム 募集説明会 資料

平成24年5月

JST復興促進センター



I . 復興促進プログラムの 全体概要

1. 東日本大震災復旧・復興関連事業

(1) J S T (科学技術振興機構)

1. 復興促進プログラム

- 復興促進プログラム (A-S T E P) (9 億円)
- 復興促進プログラム (産学共創) (2 億円)
- 復興促進プログラム (マッチング促進) (20 億円)

2. 放射線計測分析技術・機器開発 (13 億円)

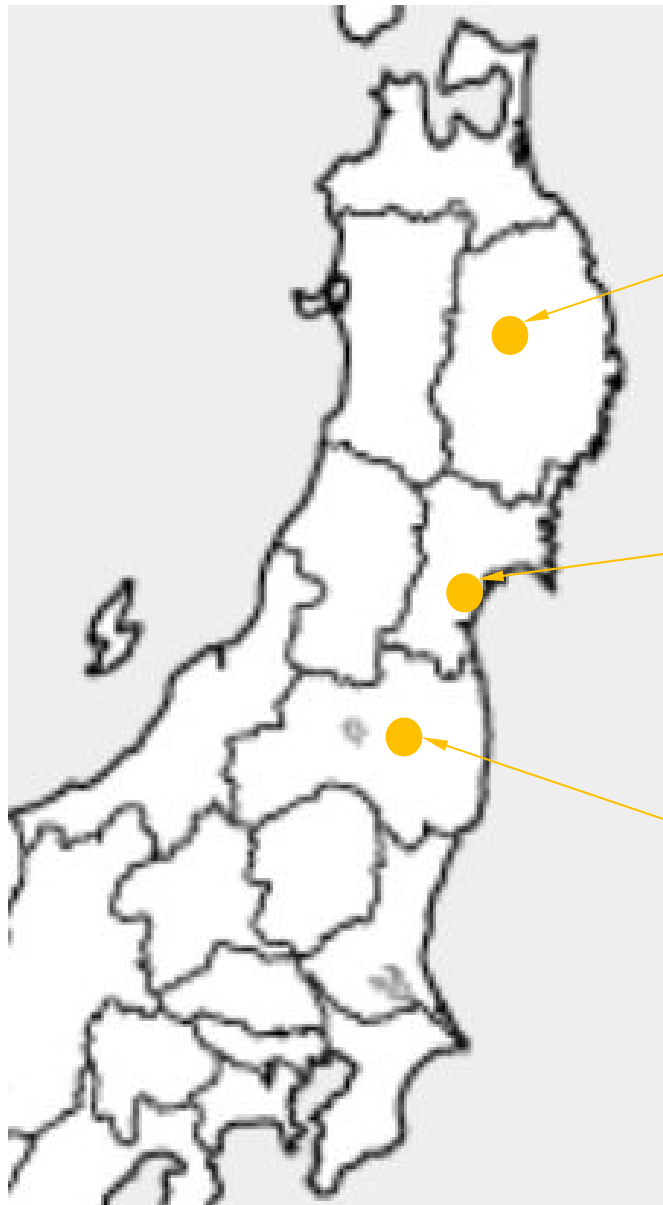
先端計測分析技術・機器開発プログラムのスキームを活用して行政ニーズ、現地ニーズが極めて高く、開発に一定期間を要する放射線量計測技術・機器開発を推進

(2) M E X T (文部科学省)

- 被災地復興のための地域主導科学技術駆動型
地域発展モデルの構築支援 (15 億円)
- 東北復興次世代エネルギー研究開発プロジェクト (20 億円)
- 東北マリンサイエンス拠点の形成 (15 億円)
- 東北メディカル・メガバンク計画 (56 億円)
- 東北発 素材技術先導プロジェクト (15 億円)

2. JST復興促進センター

～ 3つの拠点を設置し被災地のニーズにきめ細かく対応 ～



JST復興促進センター
盛岡事務所

運営委員会

JST復興促進センター
仙台事務所

運営委員会

JST復興促進センター
郡山事務所

運営委員会

総合運営
委員会

※各事務所にマッチングプランナーを配置(計18名程度)

3. 本プログラムの目的

- 東北地方の(社)東北経済連合会を始めとする産業団体や自治体等との連携のもと
- マッチングプランナーにより
被災地産学共同研究支援、
全国の大学等の技術シーズの育成強化、
技術シーズの被災地企業への移転促進等
を総合的に実施することで
- 大学・高専・公設試・国立研究所等の研究シーズを被災地企業において実用化し、被災地復興に貢献することを目的とします。

※本プログラムは「産学官連携による東北発科学技術イノベーション創出プロジェクト」の一部です

3. 本プログラムの概要

(1) 復興促進プログラム (A-STEP)

被災地ニーズを踏まえた全国の大学等のシーズの育成をA-STEP・FSステージのスキームを活用して実施いたします

(2) 復興促進プログラム (産学共創)

東北産業界が望む特定テーマに関する技術的課題の解決のための基盤研究を、産学共創基礎基盤研究プログラムのスキームを活用して実施いたします

(3) 復興促進プログラム (マッチング促進)

マッチングプランナーの活用により、産学官連携支援機関の協力のもと被災地企業のニーズを発掘し、これを解決できる被災地を始めとした大学等の研究シーズとマッチング、産学共同研究を支援いたします

4. 比較表

	A-STEP		産学共創	マッチング促進
	探索タイプ	シーズ顕在化タイプ		
申請者	ー2者共同申請ー ・全国の大学・高専・公設試等 ・コーディネータ等	ー2者共同申請ー ・被災地企業 ・全国の大学・高専・公設試等	全国の大学・高専・公設試等の公的研究機関	ー3者共同申請ー ・被災地企業 ・被災地をはじめとする全国の大学・高専・公設試等 ・JSTマッチングプランナー
募集分野	グリーンイノベーション、ライフイノベーション、ナノ・材料・ものづくり、情報通信、社会基盤、ナチュラルイノベーション		水産加工サプライチェーンの各段階における技術開発	ー
研究開発費 (1課題あたり)	170万円/年 (最大300万円/年)	800万円/年	最大3,000万円/年 (H24は最大1,500万円)	タイプⅠ：～1,000万円/年 タイプⅡ：～2,000万円/年 (可能性試験：～200万円/年) ※マッチングファンド
研究開発期間	1年	1年	2～3年	1～3年
募集時期	平成24年4月16日正午～5月31日正午		平成24年4月16日正午～6月14日正午	年間を通じて受付 (初回〆切：平成24年6月25日正午)
採択予定件数	300課題程度	50課題程度	10課題程度	H24：100～300課題程度

5. 研究開発フェーズ

<支援対象>

大学等



企業



A-STEP
探索タイプ

170万円／課題
100～300課題

産学共創

1500万円／課題
10課題

シーズ
顕在化
タイプ

800万円／課題
50課題

マッチング促進

～2000万円／課題
80課題

※「シーズ顕在化タイプ」及び「マッチング促進」は、大学と企業の共同研究。

※「マッチング促進」は企業負担あり。

基礎研究

可能性
検証

実用性
検証

実証
試験

製品
開発

6. 対象分野

実用化を目指す全ての研究開発

＜復興促進プログラム（マッチング促進）＞

＜復興促進プログラム（A-STEP）復興推進分野＞

- ・グリーンイノベーション
- ・ライフイノベーション
- ・ナノ・材料・ものづくり
- ・情報通信技術
- ・社会基盤
- ・ナチュラリノベーション

＜復興促進プログラム （産学共創）対象分野＞

※復興促進プログラムの支援対象は以下のとおり。

- ・ マッチング促進 : 被災地企業のニーズを解決できる産学共同研究
- ・ A-STEP : 被災地のニーズを踏まえた大学等のシーズの実用化可能性検証
- ・ 産学共創 : 東北産業界が望む特定テーマに関する技術的課題の解決のための基盤研究

Ⅱ. 復興促進プログラム (A-STEP)

1. 比較表

	A-STEP		産学共創	マッチング促進
	探索タイプ	シーズ顕在化タイプ		
申請者	ー2者共同申請ー ・全国の大学・高専・公設試等 ・コーディネータ等	ー2者共同申請ー ・被災地企業 ・全国の大学・高専・公設試等	全国の大学・高専・公設試等の公的研究機関	ー3者共同申請ー ・被災地企業 ・被災地をはじめとする全国の大学・高専・公設試等 ・JSTマッチングプランナー
募集分野	グリーンイノベーション、ライフイノベーション、ナノ・材料・ものづくり、情報通信、社会基盤、ナチュラルイノベーション		水産加工サプライチェーンの各段階における技術開発	—
研究開発費 (1課題あたり)	170万円/年 (最大300万円/年)	800万円/年	最大3,000万円/年 (H24は最大1,500万円)	タイプⅠ：～1,000万円/年 タイプⅡ：～2,000万円/年 (可能性試験：～200万円/年) ※マッチングファンド
研究開発期間	1年	1年	2～3年	1～3年
募集時期	平成24年4月16日正午～5月31日正午		平成24年4月16日正午～6月14日正午	年間を通じて受付 (初回〆切：平成24年6月25日正午)
採択予定件数	300課題程度	50課題程度	10課題程度	H24：100～300課題程度

2. 研究開発フェーズ

＜支援対象＞

大学等



企業



A-STEP
探索タイプ

170万円／課題
100～300課題

産学共創

1500万円／課題
10課題

A-STEP
シーズ
顕在化
タイプ

800万円／課題
50課題

マッチング促進

～2000万円／課題
80課題

※「シーズ顕在化タイプ」及び「マッチング促進」は、大学と企業の共同研究。

※「マッチング促進」は企業負担あり。

基礎研究

可能性
検証

実用性
検証

実証
試験

製品
開発

3. 対象分野

実用化を目指す全ての研究開発

<復興促進プログラム（マッチング促進）>

<復興促進プログラム（A-STEP）復興推進分野>

- ・グリーンイノベーション
- ・ライフイノベーション
- ・ナノ・材料・ものづくり
- ・情報通信技術
- ・社会基盤
- ・ナチュラリノベーション

<復興促進プログラム （産学共創）対象分野>

※復興促進プログラムの支援対象は以下のとおり。

- ・ マッチング促進 : 被災地企業のニーズを解決できる産学共同研究
- ・ A-STEP : 被災地のニーズを踏まえた大学等のシーズの実用化可能性検証
- ・ 産学共創 : 東北産業界が望む特定テーマに関する技術的課題の解決のための基盤研究

4. 概要

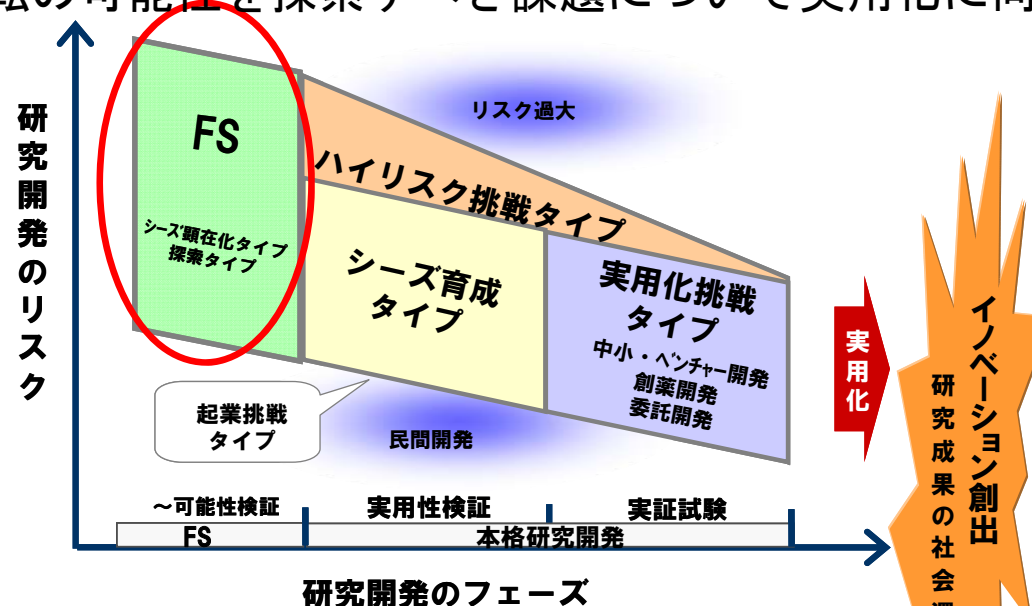
JST研究成果展開事業「研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）」の、フィージビリティスタディ（FS）ステージのしくみを利用して、被災地域の企業ニーズを踏まえたシーズの実用化可能性検証を行います

①探索タイプ

大学・高専・公設試等の研究者と各種コーディネータ等の対話を通じて、基礎研究のうち被災地域の企業への技術移転の可能性を探索すべき課題について実用化に向けた研究開発を支援します

②シーズ顕在化タイプ

大学等の基礎研究のうち企業の視点（企業ニーズ）で見出されたシーズの候補を対象に、シーズとしての実現可能性を被災地域の企業との産学共同で検証する研究開発を支援します



分野	装置 デバイス 材料 医薬品 医療機器	要素技術 動作原理 ラボレベル合成 化合物ライブラリ 要素技術・試作機	プロトタイプ 試作デバイス テストプラント	初号機 実デバイス パイロットプラント 臨床試験（～Ph2a） 臨床試験
----	---------------------------------	---	-----------------------------	--

実用化

5. 詳細

(1) 探索タイプのご応募にあたって

- ・本プログラムの探索タイプでは、将来的に被災地域の企業との共同研究を目指していただきます。
- ・JSTでは、被災地域の企業との共同研究の実現（マッチング）を支援するため、研究終了後の評価で一定以上の評価を得た採択課題につきましては、東北経済連合会等の各産学連携支援機関と連携し、被災地域にて新技術説明会を開催いたします。

その際は、被災地域までお越しいただき企業向けの研究成果のプレゼンテーションにご協力をお願いいたします。

(2) 研究開発費（1 課題あたり間接経費を含む）

- ・探索タイプ : 170万円／年（最大300万円／年）
- ・シーズ顕在化タイプ : 800万円／年

(3) 研究開発期間 1 年

(4) 選考方法 書類審査のみ

(5) 応募の要件

①探索タイプ

被災地域の企業への技術移転の可能性が見込まれる大学等の研究成果について、

- (1) 全国の大学等の研究者※とコーディネータ等の共同申請
- (2) 全国の大学等研究者の申請（被災地域の企業の研究開発関係者の見解が付されている必要があります）

※ 同一の研究責任者による、複数の課題申請は認められません

②シーズ顕在化タイプ

被災地域※¹の企業と全国の大学等の研究者との共同申請

※1 「被災地域」とは、東日本大震災復興特別区域法第2条第2項に定める「復興特別区域」の対象区域を指します。なお、研究開発拠点や生産拠点等のみが被災地域に所在する場合も申請可能です。2社以上が参画する場合、1社以上が被災地域の企業であることが要件となります。また、申請時点において被災地域に所在がない場合でも被災地で生産拠点等の立地を予定している場合も申請が可能です。

(6) 復興推進分野

グリーンイノベーション、ライフイノベーション、ナノ・材料・ものづくり
情報通信技術、社会基盤、ナチュラルイノベーション

※具体的な技術例は次頁をご参照ください。なお、次頁の表以外の技術でも、被災地域の企業から実用化を目指す提案は申請対象となります。

6. 復興推進分野

重点分野	グリーン イノベーション	ライフ イノベーション	ナノ・材料・ ものづくり	情報通信 技術	社会基盤	ナチュラル イノベーション
課題 解決 内容	・安定的なエネルギーの供給と低炭素社会の実現 ・エネルギー利用の高効率化、再生可能エネルギーの利用拡大、スマート化及び社会インフラのグリーン化 ・資源リサイクルシステムの構築	・安全で有効性の高い治療の実現 ・新しい早期診断法の開発 ・高齢者、障害者、患者の生活の質の向上 ・革新的な予防法の開発	・高機能電子デバイス、精密加工技術の開発 ・共通基盤の強化に資する先端材料や部材の開発及び活用	・次世代情報通信ネットワーク技術 ・情報爆発時代の情報インフラ技術 ・情報通信技術の研究開発と利活用の検討	・安全、安心な社会、都市、地域づくりを目指し、強健かつ復元力がありしなやかで自立的に発展可能な社会の構築に資する研究開発	・第一次産業の震災からの回復 ・第一次産業の近代化・効率化 ・農商工連携による6次産業化の実現に向けた高付加価値食品加工・流通技術の開発
技術 例	省エネ・スマート化、再生可能エネルギー(太陽、風力、地熱、潮力・波力、小水力、バイオマス等)、燃料電池・蓄電システム、エネルギー供給システム、廃棄物の除染・処理・処分、社会インフラ統合システム、資源再生技術(リサイクル)レアメタル・レアアース代替、	医療機器・医療技術、福祉・介護機器・技術・食品、医療情報等の基盤整備、医薬品・予防法	高機能電子デバイス・機器、半導体、精密加工技術、計測分析機器・技術、高機能性材料・部材、ナノテクノロジー、ハードとソフトの連携(材料・部材・機器)、光・量子技術	情報通信ネットワーク、情報通信基盤技術、組込みシステム・ソフトウェア、クラウドコンピューティング、統合システム、シミュレーション	自然災害等の予測・防災・減災、被害状況の把握・情報伝達、リスク管理、交通・輸送システムの高度化・安全性評価、住宅の高度化・長寿命化、環境汚染物質の管理・対策、火災・重大事故・犯罪への対策、廃棄物の抑制・管理、再利用、サービス産業の生産性向上	農地の回復技術(除塩、除染等)、漁場の回復技術、防災林の回復技術、農作物の放射性物質吸収低減、海洋資源の管理方法、農作物の生産性向上技術(植物工場、藻類培養技術等)、農作物の新品種開発、栽培漁業(養殖技術)、食品・水産加工技術の高度化・高付加価値化、木材加工、再生可能エネルギー・省エネ技術の活用

Ⅲ. 復興促進プログラム (産学共創)

1. 比較表

	A-STEP		産学共創	マッチング促進
	探索タイプ	シーズ顕在化タイプ		
申請者	ー2者共同申請ー ・全国の大学・高専・公設試等 ・コーディネータ等	ー2者共同申請ー ・被災地企業 ・全国の大学・高専・公設試等	全国の大学・高専・公設試等の公的研究機関	ー3者共同申請ー ・被災地企業 ・被災地をはじめとする全国の大学・高専・公設試等 ・JSTマッチングプランナー
募集分野	グリーンイノベーション、ライフイノベーション、ナノ・材料・ものづくり、情報通信、社会基盤、ナチュラルイノベーション		水産加工サプライチェーンの各段階における技術開発	—
研究開発費 (1課題あたり)	170万円/年 (最大300万円/年)	800万円/年	最大3,000万円/年 (H24は最大1,500万円)	タイプⅠ：～1,000万円/年 タイプⅡ：～2,000万円/年 (可能性試験：～200万円/年) ※マッチングファンド
研究開発期間	1年	1年	2～3年	1～3年
募集時期	平成24年4月16日正午～5月31日正午		平成24年4月16日正午～6月14日正午	年間を通じて受付 (初回〆切：平成24年6月25日正午)
採択予定件数	300課題程度	50課題程度	10課題程度	H24：100～300課題程度

2. 研究開発フェーズ

<支援対象>

大学等



企業



A-STEP
探索タイプ

170万円／課題
100～300課題

産学共創

1500万円／課題
10課題

A-STEP
シーズ
顕在化
タイプ

800万円／課題
50課題

マッチング促進

～2000万円／課題
80課題

※「シーズ顕在化タイプ」及び「マッチング促進」は、大学と企業の共同研究。

※「マッチング促進」は企業負担あり。

基礎研究

可能性
検証

実用性
検証

実証
試験

製品
開発

3. 対象分野

実用化を目指す全ての研究開発

<復興促進プログラム（マッチング促進）>

<復興促進プログラム（A-STEP）復興推進分野>

- ・グリーンイノベーション
- ・ライフイノベーション
- ・ナノ・材料・ものづくり
- ・情報通信技術
- ・社会基盤
- ・ナチュラリノベーション

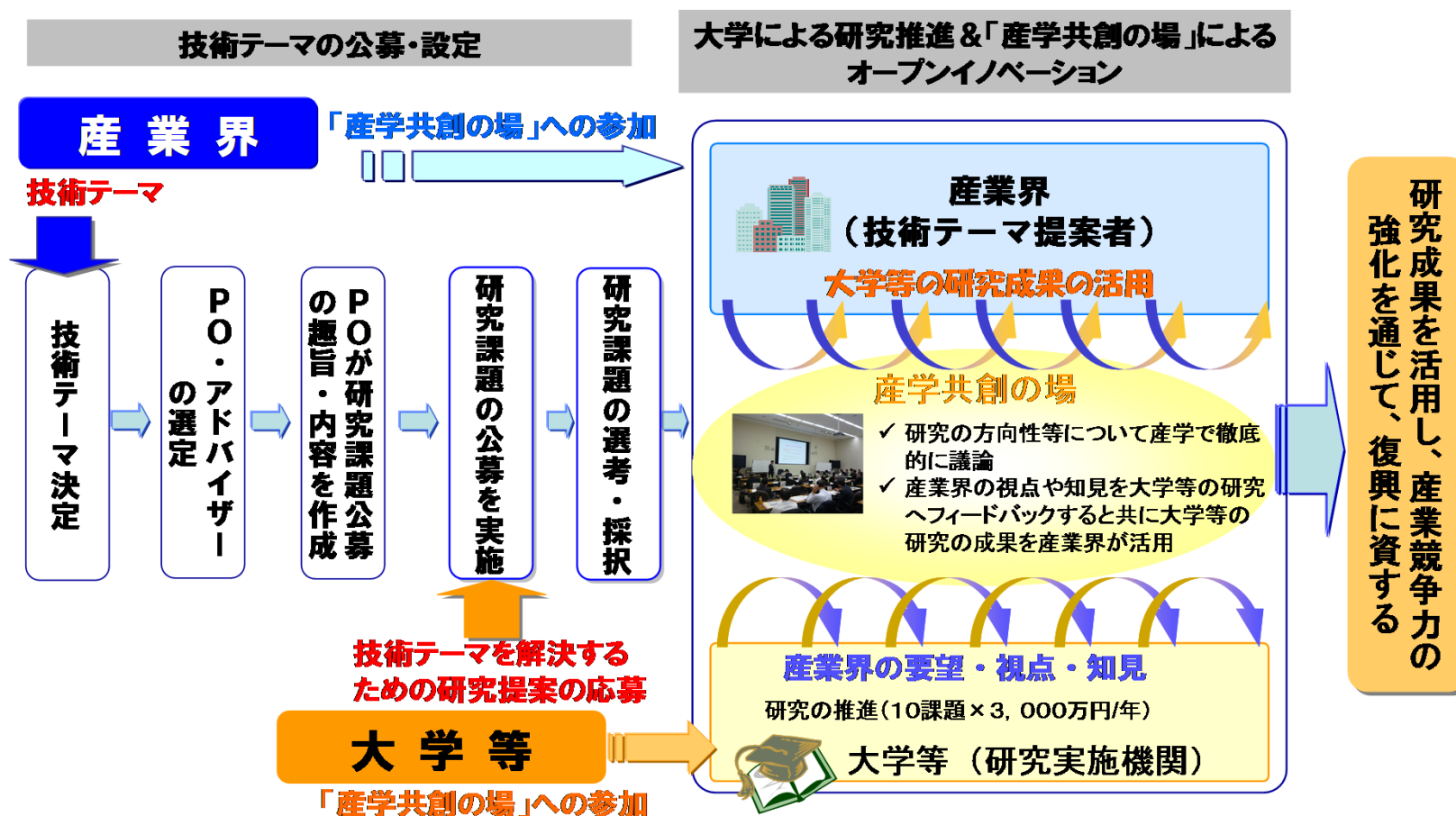
<復興促進プログラム （産学共創）対象分野>

※復興促進プログラムの支援対象は以下のとおり。

- ・ マッチング促進 : 被災地企業のニーズを解決できる産学共同研究
- ・ A-STEP : 被災地のニーズを踏まえた大学等のシーズの実用化可能性検証
- ・ 産学共創 : 東北産業界が望む特定テーマに関する技術的課題の解決のための基盤研究

4. 概要

JST研究成果展開事業「産学共創基礎基盤研究プログラム」のしくみを利用して、被災地域の産業界に共通する技術的課題（技術テーマ）の解決に資する基盤研究に対し研究資金を支援します。また、産学共創の場を開催し、産と学の対話を通じて技術テーマの解決を加速します。



5. 詳細

- (1) 研究開発費（1 課題あたり、間接経費を含む）
最大 3, 000 万円／年（平成 24 年度は最大 1, 500 万円）
- (2) 研究開発期間 2 ～ 3 年
- (3) 応募の要件 全国の大学・高専・公設試等公的研究機関の研究者
- (4) 対象分野 水産加工サプライチェーンの各段階における技術開発
- (5) 技術テーマ名 水産加工サプライチェーン復興に向けた革新的基盤技術の創出
- (6) P O 鈴木康夫（宮城大学 地域連携センター 教授）
- (7) 選考方法 書類審査、面接審査
- (8) 採択予定課題数 10 課題程度

III. 復興促進プログラム (マッチング促進)

1. 比較表

	A-STEP		産学共創	マッチング促進
	探索タイプ	シーズ顕在化タイプ		
申請者	ー2者共同申請ー ・全国の大学・高専・公設試等 ・コーディネータ等	ー2者共同申請ー ・被災地企業 ・全国の大学・高専・公設試等	全国の大学・高専・公設試等の公的研究機関	ー3者共同申請ー ・被災地企業 ・被災地をはじめとする全国の大学・高専・公設試等 ・JSTマッチングプランナー
募集分野	グリーンイノベーション、ライフイノベーション、ナノ・材料・ものづくり、情報通信、社会基盤、ナチュラルイノベーション		水産加工サプライチェーンの各段階における技術開発	ー
研究開発費 (1課題あたり)	170万円/年 (最大300万円/年)	800万円/年	最大3,000万円/年 (H24は最大1,500万円)	タイプⅠ：～1,000万円/年 タイプⅡ：～2,000万円/年 (可能性試験：～200万円/年) ※マッチングファンド
研究開発期間	1年	1年	2～3年	1～3年
募集時期	平成24年4月16日正午～5月31日正午		平成24年4月16日正午～6月14日正午	年間を通じて受付 (初回〆切：平成24年6月25日正午)
採択予定件数	300課題程度	50課題程度	10課題程度	H24：100～300課題程度

2. 研究開発フェーズ

<支援対象>

大学等



企業



A-STEP
探索タイプ

170万円／課題
100～300課題

産学共創

1500万円／課題
10課題

A-STEP
シーズ
顕在化
タイプ

800万円／課題
50課題

マッチング促進

～2000万円／課題
80課題

※「シーズ顕在化タイプ」及び「マッチング促進」
は、大学と企業の共同研究。

※「マッチング促進」は企業負担あり。

基礎研究

可能性
検証

実用性
検証

実証
試験

製品
開発

3. 対象分野

実用化を目指す全ての研究開発

<復興促進プログラム（マッチング促進）>

<復興促進プログラム（A-STEP）復興推進分野>

- ・グリーンイノベーション
- ・ライフイノベーション
- ・ナノ・材料・ものづくり
- ・情報通信技術
- ・社会基盤
- ・ナチュラリノベーション

<復興促進プログラム （産学共創）対象分野>

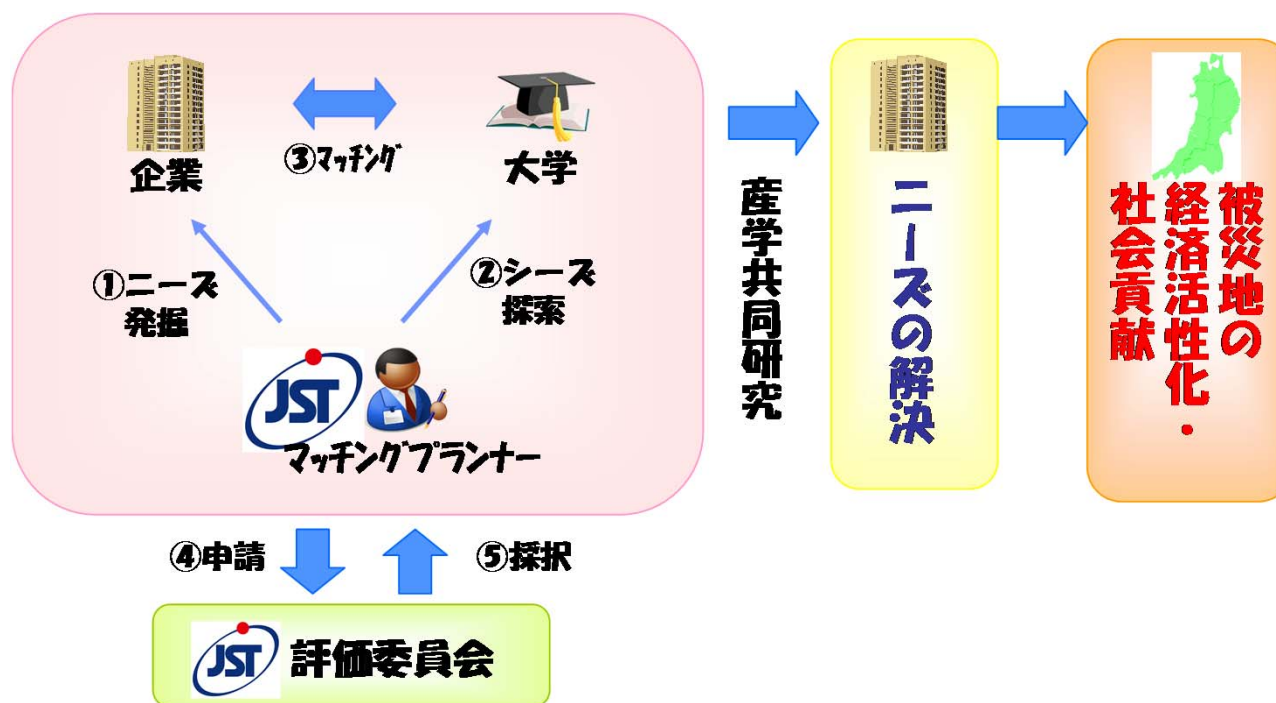
※復興促進プログラムの支援対象は以下のとおり。

- ・ マッチング促進 : 被災地企業のニーズを解決できる産学共同研究
- ・ A-STEP : 被災地のニーズを踏まえた大学等のシーズの実用化可能性検証
- ・ 産学共創 : 東北産業界が望む特定テーマに関する技術的課題の解決のための基盤研究

4. 概要

JST マッチングプランナーが産学官連携支援機関の協力のもとに、被災地域の企業の技術ニーズを発掘し、これを解決できる被災地域を始めとした大学等※の研究シーズとマッチングし、産学共同研究を支援します

※大学等：国公立大学、高等専門学校、国立試験研究機関、公立試験研究機関、研究開発を行っている特殊法人、独立行政法人、公益法人等（非課税の法人に限る）



5. 詳細

(1) 研究開発費（1 課題あたり間接経費を含む）

タイプⅠ : ~ 1, 000 万円／年

タイプⅡ : 1, 000 万～2, 000 万円／年

（タイプⅠ、Ⅱを申請する前に可能性試験（上限200万円）の申請を行うことができます）

(2) 企業負担（マッチングファンド）

JST支援額（大学等の間接経費部分を除く）に対し

（1 年目）1／5 （2 年目）1／4 （3 年目）1／3

の企業負担をお願いいたします

なお、可能性試験については課題終了後にタイプⅠまたはタイプⅡにつながった場合、可能性試験の JST 支援額に対する上記の企業負担をお願いいたします

(3) 研究開発期間 1 ～ 3 年（可能性検証については最長 1 年度）

(4) 申請方法

マッチングプランナーより、被災地域の企業の技術ニーズを解決しうる研究シーズをお持ちの大学等の研究者へ、共同研究の実施の可否も含め事前にご相談させていただき、その上で申請いただきます。

なお、既に被災地企業との共同研究を具体的に計画されている場合も、事前にマッチングプランナーへ共同研究体制、研究計画等についてご相談いただき上で、申請いただきます。

(5) 申請の要件

被災地域※の企業、被災地をはじめとする全国の大学等の研究者、マッチングプランナーとの共同申請

※ 「被災地域」とは、東日本大震災復興特別区域法第2条第2項に定める「復興特別区域」の対象区域を指します。なお、研究開発拠点や生産拠点等のみが被災地域に所在する場合も申請可能です。また、2社以上が参画する場合、1社以上が被災地域の企業であることが要件となります

(6) 選考方法

・タイプⅠ、可能性試験は書類審査、タイプⅡは面接審査となります

V. スケジュール等

1. スケジュール

	A-STEP	産学共創	マッチング促進	
	探索タイプ シーズ顕在化		タイプⅠ タイプⅡ	可能性試験
公募開始	4月16日(月)正午	4月16日(月)正午	4月16日から 相談受付開始	4月16日から 相談受付開始
応募締切	5月31日(木)正午	6月14日(木)正午	第1回×切 6月25日(月)正午	随時受付
審査	書類審査 6～8月予定	書類審査 面接審査 7月予定	Ⅰ：書類審査 Ⅱ：書類・面接審査 第1回：7～8月予定	書類審査 随時
採択決定	8月下旬予定	7月下旬頃予定	第1回：8月中旬予定	随時
研究開始	9月以降予定	8月以降予定	9月以降予定	採択決定後 速やかに

2. お問い合わせ先

- 復興促進プログラム(A-STEP) E-mail: fukkou_a-step@jst.go.jp
 - 復興促進プログラム(マッチング促進) E-mail: fukkou_matching@jst.go.jp
- 独立行政法人 科学技術振興機構

- ・ JST復興促進センター 盛岡事務所 TEL : 019-635-0727 FAX : 019-635-0818
- ・ JST復興促進センター 仙台事務所 TEL : 022-395-5712 FAX : 022-395-5830
- ・ JST復興促進センター 郡山事務所 TEL : 024-983-0183 FAX : 024-983-0184

- 復興促進プログラム(産学共創) E-mail: fukkou_kyousou@jst.go.jp
- 独立行政法人 科学技術振興機構
JST復興促進センター【産学共創担当】
TEL 03-5214-8475 (受付時間 : 10:00~12:00/13:00~17:00、土日祝祭日を除く)

共通E-mail fukkou@jst.go.jp HP <http://www.jst.go.jp/fukkou/>